

八ヶ岳 裏同心ルンゼ～小同心クラック

日 時 11月23日(日)

メンバー L小池、坂野

時 間 **04:20 赤岳山荘下駐車場～13:30 横岳頂上～17:10 赤岳山荘下駐車場**

三連休だったが最終日に結婚式が入っていたため、日帰りで八ヶ岳を計画する。美濃戸口の小屋の仮眠スペースで寝ようと思っていたが、赤岳山荘への道に雪も無かったので、赤岳山荘下まで車で入る。途中一か所ぬかるみで立ち往生するが、何とか通過（スイフトがんばれ）。行動時間が長くなりそうなので、早めに登山口に着き、充分睡眠を取る。

04:20 出発。赤岳鉱泉までの道も雪はあまり無い。赤岳鉱泉に着くころ明るくなりだし、大同心をはじめとする山々が望めたが、どちらかと言うと無雪期に近い感じ。果たして裏同心は凍っているだろうかと少し不安を感じつつ、ルンゼに入る。15分ぐらいでF1着。意外としっかり凍っていた。ここで準備を整え、登攀開始。

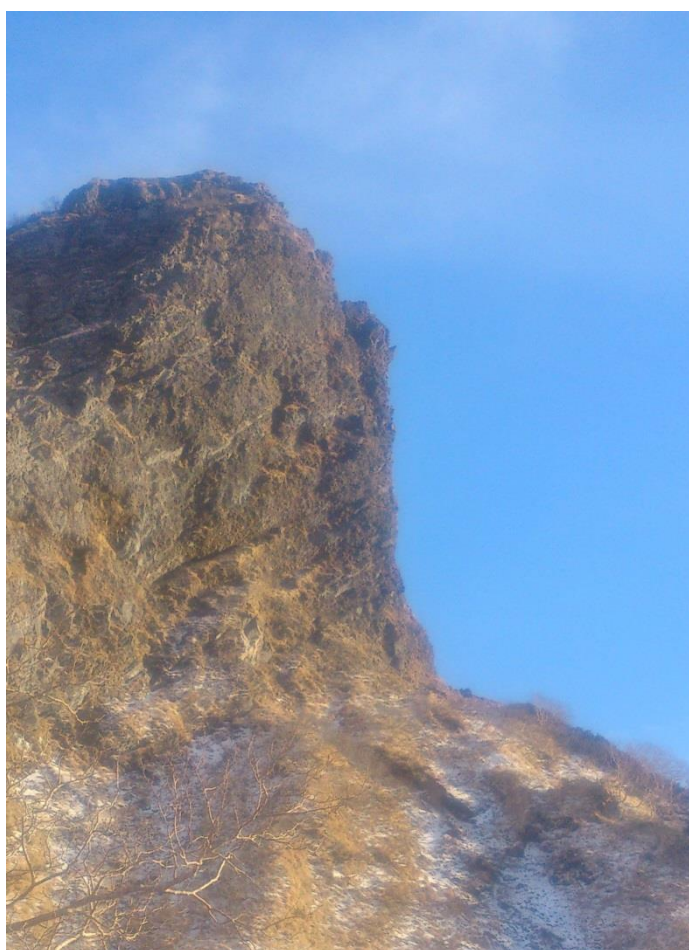
シーズン初めなので、氷の感触や体の動きを確認しつつ登る。登り始めてすぐ大勢の後続パーティが来たが、幸いなことに追い立てられることもなく、自分たちのペースで登ることが出来た。写真は裏同心ルンゼ最後のF5をリードする坂野さんです。



(携帯のカメラなのでイマイチ?)

F5を抜けたところで大休止。その後大同心の基部に沿って大同心稜に抜ける。稜上は太陽があたり暖かい。大同心稜から見る小同心は写真の通り。新品の靴のせいで出来た靴ズレの痛みが耐え難かったが、まだ昼前でこの天気じゃ行かない理由は無いらろうと、予定通り小同心の基部をトラバースし小同心クラックの取付を目指す。

クライミングシューズでも充分そうな条件だったが、とりあえずアイゼンで取付く。1ピッチ目のビレイ点から取付を見るとほとんど真下。簡単だけど立ってるなあ〜とあらためて関心。2ピッチ目の方がちょっと難しく坂野さんがリード。そこからちょっと上がると小同心の頭。横岳の頂上直下のワンポイントでロープを出し、頂上には13:30到着。そんなに難しいルートでは無いが、いろいろな要素を楽しみながら頂上に直接出られるので、それなりの充実感がある。



(小同心 右のスカイライン辺りがルート)

頂上からは大同心と小同心の間を3回程度の短めの懸垂を交えて下り、大同心稜に出る。休んでいたら東京の知り合いにバッタリ会ったので少し話しをした後、急な稜を一気に下る。あとは赤岳鉱泉で小休止し、明るいうちに降りられるよう早足で下山した。

以 上